

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 25 年 10 月 24 日 (2013.10.24)

【公開番号】特開 2011-66407 (P2011-66407A)

【公開日】平成 23 年 3 月 31 日 (2011.3.31)

【年通号数】公開・登録公報 2011-013

【出願番号】特願 2010-200806 (P2010-200806)

【国際特許分類】

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 7/20 U

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 9 月 9 日 (2013.9.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも 1 つのシャシー・チャンネルを包含するシャシー及びにおいてウェッジ・クランプと共に使用するためのモジュールであって、

第 1 の側部と、

第 2 の側部と、

前記第 1 の側部と前記第 2 の側部との間にプリント基板アセンブリと、

第 1 の外部壁および第 1 の内部壁とを備えた第 1 の拡張と、

第 2 の外部壁および第 2 の内部壁とを備えた第 2 の拡張と、

を有し、

前記第 1 の拡張が、前記第 1 の側部に取り付けられ、前記第 2 の拡張が、前記第 2 の側部に取り付けられ、

前記第 1 の内部壁および前記第 2 の内部壁の各々が第 1 の位置を有し、

前記第 1 の内部壁および前記第 2 の内部壁に加えられる圧力に応じて、前記第 1 の内部壁および前記第 2 の内部壁が、それぞれの第 2 の位置まで移動し、前記第 1 の内部壁及び前記第 2 の内部壁がそれぞれの第 2 の位置にあるとき、前記第 1 の内部壁と前記第 2 の内部壁との間の距離が、前記第 1 の内部壁及び前記第 2 の内部壁がそれぞれの第 1 の位置にあるときの距離よりも大きく、前記モジュールがシャシーに取り付けられたとき、前記第 1 の拡張及び前記第 2 の拡張が、少なくとも 1 つのチャンネル内に少なくとも部分的に延びるように構成される、

ことを特徴とするモジュール。

【請求項 2】

拡張可能ウェッジクランプを更に有し、

前記第 2 の内部壁および前記第 1 の内部壁の各々の少なくとも一部が、前記拡張可能ウェッジクランプに隣接する

ことを特徴とする請求項 1 に記載のモジュール。

【請求項 3】

前記ウェッジクランプの拡張が、

前記第 1 の内部壁および前記第 2 の内部壁に圧力を加えることを特徴とする請求項 2 に記載のモジュール。